完全対策講座 生物基礎

このPDFは、製品版の冒頭5ページを抜粋した
無料の試し読みサンプルです。目次・本文の書き方・
問題の出し方を確認してから、購入をご検討ください。

購入先

・黒田塾 教材プラン（科目別・セット価格、LINEで注文）
https://kurodaschool.jp/materials/
・BOOTHショップ「東大黒田塾」（ダウンロード販売）
https://kurodajuku.booth.pm/
・科目選びの相談（無料）
https://kurodaschool.jp/contact/

※ サンプルは製品版の一部です。収録範囲・分量の全体は
各販売ページでご確認ください。
※ 本サンプルは個人の学習用です。第三者への配布・転載・
転売・共有は禁止します。
※ 購入や読了による合格・得点を保証するものではありません。

高校生物基礎

なぜと流れで学ぶ
構造化マスター

仕組みを理解する。
答えを隠して思い出す。
資料が変わっても、理由を説明する。

理由を読む → 図でつなぐ → 穴あきで再現 → 演習で使う

全40単元／穴あきプリント40枚・320問

例題40題＋理解の確認26題＋実践確認20問／単元別演習240問

資料・記述演習17題／選択肢演習16問／総合テスト2回・30小問

細胞・代謝・遺伝情報、ヒトの体の調節、植生・生態系を一冊につなぐ。中学内容の確認から、生物基礎の資料考察まで。

試し読みサンプル

TeX第7版　2026年10月30日

黒田塾

この本の使い方と到達の目安

各単元は、本文→整理・例題→必要な比較・追加解説→穴あきプリント→演習と解説の順で進む。答えを隠し、自分で言葉を補って説明できるか確かめる。

初めて学ぶ人は第01単元から順に進む。既習者は穴あきと演習を先に解き、説明できなかった単元だけ本文へ戻ってよい。各単元に前提となる単元番号を記した。

段階	できるようにすること
本文	主語・働き・結果をつないで、なぜそうなるかを説明する。
穴あき	下段を隠して解き、用語を補った全文を再現する。
単元別演習	用語、比較、計算、条件の判断を確かめる。
資料・記述演習	表のどの値を根拠に、どの仕組みを使うかを書く。
総合テスト	単元名が示されなくても、必要な知識を選んで使う。

正答した問題も、「なぜ他の答えではないか」を言えるか確認する。翌日・3日後・7日後の確認欄は復習日の例であり、全員に最適な間隔という意味ではない。忘れた項目を優先して戻る。

穴あきは用語や関係を思い出す練習に使う。その後に空所のない図や記述問題でも説明する。文の形だけを覚えて正答できた場合と、条件が変わっても説明できた場合を分ける。

習得の確認は、用語を答える、仕組みを説明する、未見の資料で解く、の三段階で行う。本書を読み終えたことだけでは習得を判定しない。最後に未見の共通テスト過去問も使って、形式と時間内の得点を確認する。

本書は生物基礎の教材である。大学範囲の理論や、発展科目「生物」の詳細は扱わない。二次試験で「生物」が必要な受験者は、別科目として学習する。

試し読みサンプル

範囲の対応表

領域・主題	本書の単元	確認する力
生物の共通性と多様性	03〜06	細胞の構造を比較し、共通性と違いを説明する。
生物とエネルギー	07〜10	ATP・酵素・呼吸・光合成をつなぐ。
遺伝情報とDNA	11〜13・16	相補性から複製と分配を説明する。
遺伝情報とタンパク質合成	14〜16	DNA・mRNA・タンパク質と発現をつなぐ。
情報伝達・体内環境の維持	17〜24	神経・ホルモン・血糖・凝固を説明する。
免疫	25〜29	自然免疫・獲得免疫・記憶を区別する。
植生と遷移	30〜34	光・土壌・気候と植生の変化をつなぐ。
生態系の多様性・保全	35〜38	捕食・間接効果・攪乱・保全を資料で考える。
探究・資料読解	01・02・39・40	条件、単位、比較、結論の限界を確かめる。

範囲は文部科学省「高等学校学習指導要領解説 理科編 理数編」第2章第6節を基準とする。器官の主な役割などは中学内容を短く確認する。教科書の参考事項にある細かな構造や、別科目「生物」で深める内容を、必須の暗記事項として追加しない。

転写・翻訳は情報の対応、神経は自律神経による調節、免疫は細胞の役割と記憶、生態系は捕食・間接効果・保全を中心に扱う。詳しい分子機構や生態系の物質生産の定量論、大学の統計手法は扱わない。未知の物質を用いる問題では、必要な働きを問題文に与える。

試し読みサンプル

目次：第01〜20単元

単元	内容	本文	確認
01	生物基礎を学ぶ地図	9	11
02	実験・グラフの読み方	14	16
03	共通性・多様性・進化	19	22
04	細胞の基本構造	25	28
05	原核生物と真核生物	31	33
06	観察と大きさ	36	40
07	代謝とATP	43	46
08	酵素の役割	49	52
09	呼吸と光合成	55	59
10	代謝の実験を読む	62	64
11	DNA・遺伝子・染色体・ゲノム	67	71
12	DNAの構造と相補性	74	77
13	DNAの複製と分配	80	84
14	DNAからタンパク質へ	87	91
15	細胞ごとに異なる遺伝子発現	94	96
16	遺伝情報の資料問題	99	102
17	体液と内部環境	105	108
18	血液の働きと凝固	111	114
19	神経による情報伝達	117	121
20	自律神経による調節	124	127

「確認」は穴あきプリントのページ。各単元の最後に、基礎・標準・考察の6問と直後の解説がある。巻末の索引から用語の整理表へ戻れる。

試し読みサンプル

目次：第21〜40単元

単元	内容	本文	確認
21	ホルモンと標的細胞	130	133
22	血糖濃度の調節	136	140
23	調節の乱れと疾患	143	145
24	体温・水分と器官の連携	148	151
25	体の防御と自然免疫	154	157
26	獲得免疫の二つの働き	160	164
27	免疫記憶と二次応答	167	169
28	予防接種と抗体の利用	172	175
29	免疫と身近な疾患	178	180
30	植生と環境形成作用	183	185
31	光と植物の生育	188	191
32	遷移の仕組み	194	197
33	世界のバイオーム	200	203
34	日本のバイオーム	206	209
35	食物網と物質・エネルギー	212	215
36	種多様性と間接効果	218	220
37	攪乱と生態系の変化	223	226
38	生態系の保全と調査	229	232
39	初見資料を既習事項につなぐ	235	237
40	全範囲の到達判定	240	242

「確認」は穴あきプリントのページ。各単元の最後に、基礎・標準・考察の6問と直後の解説がある。巻末の索引から用語の整理表へ戻れる。

試し読みサンプル